

第三者評価結果（児童自立支援助事業）

種別：	児童自立生活援助事業
-----	------------

①第三者評価機関名

(一社)社会福祉事業評価機構

②施設名等

名称：	自立援助ホーム ゆめじ
施設長氏名：	山家 幸晟
定員：	6名
所在地(都道府県)：	広島県
URL：	http://www.toride2016.com/

③実施調査日

開始日	2020/11/14
評価結果確定日	2021/4/6

④総評

<p>【特に評価が高い点】</p> <p>①子ども達の自主性を重視した支援体制 子ども達に、ルールや制約を設けず、自主性に任せる部分を重視し、場合によっては子ども同士の対話により解決を図るなど、エンパワメントを引き出す支援を展開されています。この支援の結果、課題を抱えた子ども達が安定して暮らせるようになり、その先の問題解決能力の向上に繋がっています。</p> <p>②子ども達とのコミュニケーション 複数の若い男性職員の配置もあり、子ども達との年齢も近いことから円滑で支援に効果的なコミュニケーションが可能な体制となっています。</p> <p>【改善が必要と思われる点】</p> <p>①職員の経験値やスキルの底上げ 職員の経験が浅く、児童福祉に関する知識や制度に関する理解を深める必要性について、運営者および現場の職員双方の共通認識として挙げられています。</p> <p>②マニュアル類の充実化 開設されて間もないこともあり、実際に行われている活動や支援内容を書面化できていない部分も多いようです。現在マニュアル作成に着手しておりますが、取り組みや支援の標準化を図るためにも、充実した内容のマニュアル作成がなされることを期待いたします。</p>
--

⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

<p>初めて第三者評価を利用させていただきました。施設での子どもたちに対しての支援の方針や、取り組んでいる内容を評価していただけていると感じました。マニュアル作成等の改善点は参考にさせていただき、より良いホームの運営が出来る様に取り組んでいきたいと思っています。</p>

第三者評価結果（児童自立生活援助事業）

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

(1) 理念・基本方針が確立されている。	第三者 評価結果
① 理念が明文化されている。	b
② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 理念については、パンフレットにも掲載されており、職員間の共通認識にも繋がっていることがヒアリングを通して理解できました。</p>	

I-1 理念・基本方針

(2) 理念や基本方針が職員に周知されている。	第三者 評価結果
① 理念や基本方針が職員に周知されている。	b
② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 入居前に施設での約束ごとについての説明を十分に行っておられます。入居時以降にも、周知状況を確認する機会を設けるなど、継続的な取り組みについての検討がなされることを期待いたします。</p>	

I-2 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
① 中・長期計画が策定されている。	c
② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 中長期計画の策定はなされていません。理事長より今後の展望を伺いましたが具体的な構想もあり、まずは書面化に着手されることを期待いたします。</p>	

I-2 事業計画の策定

(2) 事業計画が適切に策定されている。	第三者 評価結果
① 事業計画の策定が組織的に行われている。	b
② 事業計画が職員に周知されている。	b
③ 事業計画が利用者等に周知されている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 単年度の事業計画は充実した内容で作成されており、評価を踏まえた翌年度の事業計画策定に繋がっていることが確認できました。自己評価において、周知面に課題があるとのことですので、今後の取り組みに期待いたします。</p>	

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	b
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 運営者側や現場の職員間において、管理者の役割や職責に関する認識は図られているようです。法令遵守に関する取り組みや勉強会への参加等に課題が残ります。</p>	

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	第三者 評価結果
① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	b
② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 職員間のチームワークの発揮により、子ども達の自主性を重んじた支援の展開に繋がっています。経営面の分析等は、法人の運営者サイドで行っている側面が多く、職員会議などを通して職員間で共有されています。</p>	

II 組織の運営管理

II-1 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b
② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	c
③ 外部監査が実施されている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 福祉サービスの認識や経営課題などはしっかりと認識されています。また経営面のコスト分析などは、法人の運営者サイドで行っておられます。</p>	

II-2 人材の確保・養成

(1) 人事管理の体制が整備されている。	第三者 評価結果
① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	b
② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 支援の質を考慮され手厚い配置となるよう、人材の確保に努めておられます。年に2回の頻度で理事長の面談が行われ、職員の意識を高めるための働きかけも行われています。</p>	

II-2 人材の確保・養成

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	第三者 評価結果
① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b
② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 職員の就業状況に対する満足度は、一定レベルをクリアしているものと捉えています。有給取得や勤務体制に対する満足度も高いことがヒアリングを通して理解できました。</p>	

II-2 人材の確保・養成

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	第三者 評価結果
① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	b
② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	b
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 年に2回の頻度で法人内の研修が行われており、グループワークなど充実した内容であることがヒアリングから理解できました。今後は、職員育成や専門資格の取得について書面化し、計画的かつ意図的な人材育成体制の構築がなされることを期待いたします。</p>	

II-2 人材の確保・養成

(4) 実習生の受入れが適切に行われている。	第三者 評価結果
① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 実習の受け入れ可能な条件が整ったため、大学等へ受け入れのアクションを起こされるとのことでした。質の高い実習プログラムとなるよう、充実した内容のマニュアル作成にも期待いたします。</p>	

II-3 安全管理

(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果
① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	b
② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	b
③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 虐待防止や事故報告に関するマニュアルを作成され、リスクマネジメント体制の構築に努めておられます。実際の現場運営に即した内容の体制構築となることを期待いたします。</p>	

II-4 地域との交流と連携

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	b
②	事業者が有する機能を地域に還元している。	b
③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 地域のゴミ拾いへの職員の参加や、子ども達が地域の行事に招かれるなど、地域に密着した運営を目指されています。</p>		

II-4 地域との交流と連携

(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者 評価結果
①	必要な社会資源を明確にしている。	b
②	関係機関等との連携が適切に行われている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 法人の取り組みとして、地域での学習支援や子ども食堂・宅食など食事の提供があり、施設の職員も交代で協力されています。</p>		

II-4 地域との交流と連携

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者 評価結果
①	地域の福祉ニーズを把握している。	b
②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 地域の福祉ニーズを把握され、子ども食堂や宅食のサービスなどを行っておられます。今後、子ども食堂を利用される子ども達の年齢層に合わせ、学習支援として塾を開催されるとのことです。また、現時点で家庭教師としての学習支援も行われています。</p>		

III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 施設への入居に至った経緯などを鑑みて制約やルールを設けるのではなく、約束ごとを守り話し合いで解決していくことを重視した支援の在り方に対する共通認識が図れており、子ども達の理解にも繋がっているという印象を受けました。</p>		

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

(2) 利用者満足の上昇に努めている。	第三者 評価結果
① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 満足度に関する調査などは未実施であるが、子ども会議の開催などを通して満足度の上昇に努めておられます。食事の時間など、普段から子どもたちと個別に話をする機会も多く、コミュニケーションを図るなかで思いを汲み取っておられます。</p>	

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	第三者 評価結果
① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	b
② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	b
③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 子ども達からの要望や意見に対しては、小規模な特性を生かし迅速に検討され、レスポンスの早い対応を行っておられます。苦情解決の第三者委員の方と子ども達と一緒に食事をするなど、交流の機会も設けておられます。</p>	

Ⅲ-2 サービスの質の確保

(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。	第三者 評価結果
① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	b
② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 第三者評価の受審は今回が初めてとなります。今回の評価を踏まえて、具体的に評価結果を分析するための仕組みを構築していかれるとのこと。また、定期的な自己評価を行う体制の構築がなされることを期待いたします。</p>	

Ⅲ-2 サービスの質の確保

(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果
① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	c
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 標準的な実施方法については書面化されていないだけで、理念や支援の方針についての共有ができており、有効な支援に繋がっているものと思われます。このことから、現在行われている支援について書面化・見直しの仕組みを確立することで、高い評価になるかと思われますので、早速着手していただくことを期待いたします。</p>	

Ⅲ-2 サービスの質の確保

(3) サービス実施の記録が適切に行われている。	第三者 評価結果
① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	b
③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) サービスの実施記録については、詳細で分かりやすい記載でした。職員会議等で子ども達の状況について密な検討をして、レスポンスの早い対応を実践されています。</p>	

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	第三者 評価結果
① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	b
② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 活動の広報については、ホームページなどを活用して行われています。実際に閲覧してみましたが、一般の方が閲覧しても、どの様な活動をしているのかイメージしやすい内容であると思われます。 また、施設の見学や一日利用などは積極的に受け入れを行ってられます。</p>	

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	第三者 評価結果
① 事業者の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 法人内にアフターケアを専門に行う人材の配置や、退去後の子ども達の雇用の受け皿として8社との連携協定を締結されています。</p>	

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

(1) 利用者のアセスメントが行われている。	第三者 評価結果
① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 入居時の情報を基に、職員会議などで情報を共有し、担当者が自立支援計画を策定されるという手順となっています。アセスメントシートは、現段階で使用されていませんが、今後導入の有無について検討していただくことを期待いたします。</p>	

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	第三者 評価結果
① サービス実施計画を適切に策定している。	b
② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 自立支援計画は、入居前の情報および職員会議などで密な検討の下、策定や見直しが行われています。また、手順についての書面化も行われていますが、緊急に変更する場合の仕組みについて検討していただくことを期待いたします。</p>	

第三者評価結果（児童自立援助事業）

A-1 利用者の尊重

(1) 利用者の尊重		第三者 評価結果
①	入居に際して、ホームでの生活や約束ごとを説明し、子どもたちがよく理解したうえで、自らの意思によって入居申込みができるように配慮している。	a
②	入居に際しての約束は、子どもの自立心を育むための目的と内容で行われている。	b
③	ホームの行う援助を説明し、子どもが援助内容を決定するプロセスに主体的に参加できるようにしている。	b
④	職員との緊密な関係を通し子どもの自尊心が育まれるよう支援している。	b
⑤	本人に出生や生い立ち、家族の状況等を伝える場合には、本人が理解できるように配慮している。	b
⑥	体罰を行わないように徹底している。	a
⑦	不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
⑧	子どもや保護者の思想や信教の自由は、他の子どもや保護者の権利を妨げない範囲で保障している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 制約やルールをあまり設けることなく、最低限の約束ごとを守ることとしっかり認識してもらい、子ども達の自主性に任せ、時に話し合いで解決することを説くなど、エンパワメントを引き出すよう働きかけを行っておられます。子ども達と職員との年齢差も近く関係性も良好となっており、質の高い支援が展開されています。</p>		

A-2 日常生活支援サービス

2-(1) 援助の基本		第三者 評価結果
①	子どもと職員の信頼関係を構築するために、受容的・支持的なかかわりを行っている。	a
②	子どもの発達段階や課題に考慮した援助を行っている。	c
③	あらゆる社会資源と連携しながら、子どもの自立を支援するためソーシャルワークを行っている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 制約やルールをあまり設けていない状況の中で、子ども達が最低限の約束ごとが守れていない現状もあり、前述した支援方針のなかで如何にルールを守ることができるように導いていくか?といった、支援のあり方についても検討の余地があるかと思われます。</p>		

2-(2) 食生活		第三者 評価結果
①	バランスのとれた食事に配慮し、食卓が安心感を得ることのできる場所となるよう配慮している。	c
②	子どもの生活時間にあわせた食事の時間を設定している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 食事提供時間については、アルバイト等で帰宅時間がそれぞれ違うなかで、個々にみあった時間帯での提供ができており、常に職員が見守ることのできる体制となっています。</p>		

2-(3) 衣生活		第三者 評価結果
①	衣服は清潔で、TPOに応じたふさわしい服装となるよう助言している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 洗濯のルールについては、子ども達が話し合った結果ルール化されています。TPOに合わせた服装で過ごせるよう、日々助言されています。</p>		

2 - (4) 住生活		第三者 評価結果
①	ホーム全体は、生活の場としての安全性や快適さを配慮したものになっている。	c
②	居室等の整理整頓、掃除等の習慣が定着するよう援助している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 共用部分は職員により掃除が行われていますが、施設見学により清潔な空間であることが確認できました。職員はそれぞれの居室内に、あまり立ち入らないようにされていますが、整理整頓の声掛けを適宜行われています。</p>		

2 - (5) 衛生管理、健康管理、安全管理		第三者 評価結果
①	身体の健康を自己管理できるよう援助している。	b
②	一人ひとりの子どもの健康を管理するとともに、必要な場合には医療機関等を利用するなど適切に対応している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 必要な際には、医療機関への送迎や受診の動向なども行っておられます。現時点で継続的な受診を必要とする子どももおらず、提携する医療機関も特にないとのことですので、今後は連携する医療機関の開拓など、医療連携体制の構築が課題の一つになってくるかと思われます。</p>		

2 - (6) 問題行動に対する対応		第三者 評価結果
①	子どもの問題行動に適切に対応し、その理由を子どもに分かるよう説明している。	b
②	ホーム内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないようホーム全体に徹底している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) サービスの実施記録とは別に、かわりの記録をとり、関わりの難しかった事象や場面を研修等で振り返りを行う機会を設けています。</p>		

2 - (7) 自主性、自律性を尊重した日常生活		第三者 評価結果
①	子ども自身が自らの生活全般について考え、主体性をもって生活ができるよう援助している。	b
②	休日等に子どもが自由に過ごせるよう配慮している。	a
③	金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう援助している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 日常の支援方針においても、子ども達の自主性を尊重した関わりを実践されていると判断できます。 金銭管理ができない子どもに対してどの様に支援していくのが、今後の課題の一つとして上げられます。</p>		

2 - (8) 社会生活支援（学習支援、進路指導等）		第三者 評価結果
①	進学を希望する子どもには、学習環境を整備し、学力に応じた学習支援を行っている。	a
②	社会生活を通して、子どもが人格の尊さを学び、自分や他人の権利を尊重し、ともに生きることができるよう支援している。	b
③	性について正しい知識を身につけ、お互いの人格を尊重しあえるような異性関係が築けるよう支援している。	b
<p>（特に評価が高い点、改善が求められる点） 可能な限り子ども達の希望する進学を支援されています。また、必要に応じて子どもを学校まで送迎するなどの対応も行われています。</p>		

2 - (9) メンタルヘルス		第三者 評価結果
①	虐待を受けた子どもなど心理的なケアが必要な場合は、関係機関と連携している。	b
<p>（特に評価が高い点、改善が求められる点） 週に一回心理士に来てもらい、子どもの精神的ケアに参加してもらっています。職員に対しては子ども達への関りのアドバイスや、時に職員のメンタルフォローも行っておられます。</p>		

2 - (10) 家族とのつながり		第三者 評価結果
①	児童相談所や関係諸機関と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり家族からの相談に応じる体制ができている。	b
②	子どもにとって家族関係の調整が必要な場合は、状況を把握して、面会、外出、一時帰省などを行っている。	a
③	虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの危険性がある場合、関係諸機関との連携により、子どもの権利と安全が守られるよう取り組んでいる。	b
<p>（特に評価が高い点、改善が求められる点） 帰省や外泊は子ども達の意思を尊重し可能な限り子ども達に機会の提供に努めておられます。その際に、児童相談所との連携や、家族とのコミュニケーションも重要視されており、また対応が困難な家族には窓口を一本化し、時間や担当者を決めて対応されています。</p>		

2 - (11) 退居の決定・退居後のかかわり		第三者 評価結果
①	退居後の生活の計画が作成され、子どもと退居後の生活を話しあった上で退居を決定している。	a
②	退居後の子どもに継続的に支援している。	b
<p>（特に評価が高い点、改善が求められる点） アフターケアについては特に尽力されています。法人内にアフターケアを専門に行う人材の配置や、退去後の雇用の受け皿として8社との連携協定を締結されています。また、ステップハウスの確保もされています。 退居児童に関しては職員が連絡が取れないなどの状況があればホームの子どもに協力を求めたり、SNSを活用して情報を集め対応されています。</p>		